

やさまさき

平和な一年であることを祈り 山崎ボランティア連絡会

山崎ボランティア連絡会は、1月17日(火) 兵庫県防災センターの玄関で、阪神・淡路大震災で亡くなられた方を偲び、竹筒に浮かべたろうソクに灯りをともし、ご冥福を祈りました。

同連絡会川崎節子会長は「災害が起こり17年。また、昨年は東日本で大きな震災がありました。今年は平和な一年であることを祈ります」と挨拶されました。



手を合わせる来館者…犠牲者を追悼



竹筒に浮かべたろうソクは12月に連絡会で作りました

この日は、防災センターに来館された多くの方々が竹筒に向かい手を合わせる姿が見られました。

中には、「姉をこの震災で亡くし、今日はテレビを見て一緒に黙とうをさせてもらったけど、ここで手を合わせることができて良かった」と感謝される方もありました。

今回のボランティア連絡会の取り組みから、いのちの尊さと震災の記憶を語り継ぐことの大切さを改めて感じました。

(山崎支部 横山洋子)

いちのみや

サロンでほっと一息... いちのみや子育てサロン



1月26日(木)、子育てサロンが行われる三万町交流センターは、昨夜からの雪で辺り一面真っ白になりました。

会場では、おもちゃで遊んだり、絵本を読んだり、おしゃべりしたりと、親子がゆったりとくつろいでいました。

一緒に愚痴を言い合ったり、楽しくおしゃべりした



「ぼくたちわたしたちもお手伝い…」



毎月第4木曜開催(変更有)、参加費無料、出入り自由…もちろん事前の申込みは不要です

り：そんな気分転換って必要ですよね。
みなさん、ほっと一息ゆったり、のんびり過ごせる子育てサロンへ、お気軽に遊びに来てください。
(本部・一宮支部 波多野好則)